

## DA6130 II・6350 IIトラブルシューティング

発生内容	原因・詳細	対処方法
フィードエラー (FEED) が表示される。	用紙切れしている。	用紙を補充してください。
	用紙はセットされているが、エラーが発生してしまう。	用紙が浮いている可能性があるので用紙をセットし直します。
		給紙ゲートが狭い可能性があります。給紙ゲートのロックを閉めたまま用紙圧調整ダイヤルの数字を大きい方へ動かしてください。 改善されない場合には給紙ゲートの調整をやり直してください。
		角2封筒等の大きな紙、又は帯封等の薄い用紙をセットする際に付属の錘を使用すると負荷が掛かり過ぎる場合があります。 マグネット式の錘部分を外して重量を軽くするとスムーズに給紙されますのでお手数ですが切り替えて使用してください。
		紙粉で給紙ゴムローラーが汚れると給紙がスムーズに行きません。 濡らして絞った布等でローラー周辺の汚れを取り除いてください。
		給紙ゴムローラーが消耗してウロコ状の溝が無くなっています。 給紙ゴムローラーを交換してください。
サイドエラー (SIDE) が表示される。	液晶画面の「ヨコイチ」にプラスの数値が入力される等で、キャリッジの移動範囲外に印刷エリアが存在してしまっている。	「ヨコイチ」の数値を減らして（場合によってはマイナス方向へ）印刷を実行させる。 その際に用紙のセット位置を同じ様に移動させると印刷位置は変わりません。（但し用紙を内側の給紙ゴムローラー2個の間にある給紙センサーを外した位置にセットすることは出来ませんので注意してください。）

発生内容	原因・詳細	対処方法
<p>ジャムエラー（JAM）が表示される</p>	<p>用紙がDA内部で紙詰まりしてしまう。          &lt;DA内部の排出用の白い小さなローラー（左右の2つ）が用紙の上に無い場合。&gt;</p>	<p>排出用の白い小さなローラー（左右の2つ）を用紙の上を通過する場所にセットしてください。          その際に印字範囲の上だと用紙が汚れますので印刷範囲以外の場所にセットしてください。</p>
	<p>紙の癖や給紙ゲートが広すぎて用紙が複数入る等で、用紙がDA内部で紙詰まりしてしまう。          &lt;DA内部の排出用の白い小さなローラー（左右の2つ）が用紙の上にセットされている場合。&gt;</p>	<p>紙の癖等が原因でキャリッジ部分に用紙が引っかかり用紙が詰まっています。          用紙を取り除いて給紙ゲート調整を含め再度やり直してください。用紙に癖がある場合はお手数ですが手で用紙を捌いて癖を無くしてください。          用紙が簡単に取りれない場合はお手数ですが電源を切り（できればコンセントも外して）取り除いてください。その際は用紙セット並びに印字データ送信をやり直してください。</p>
		<p>用紙押さえ板破損（中央部分が内部にめくりあがっている状態）が原因となっている場合は部品交換が必要となります。</p>
	<p>用紙が無い状態で発生する場合には用紙センサーの汚れ等があります。</p>	<p>用紙センサーをエアスプレー等で清掃してください。（機械内部のため、センサーは見えにくい場所にあります。銀の上部カバーを外すと見えます。）          症状が改善されない場合は担当まで御連絡ください。</p>
<p>フルスタッカーエラー（STACKER FULL）が表示される。</p>	<p>DA下部のスタッカーに排出された用紙が積み重なり、下限まで移動した場合に表示されます。          また用紙が倒れない等でセンサーに引っかかった場合に出る事もあります。</p>	<p>排出され積み重なった用紙を取り除いてください。取り除くとスタッカーが所定の位置まで戻ります。</p>
	<p>上記原因に該当しない場合にはセンサーの汚れが考えられます。</p>	<p>DA本体下部中央にセンサー（黒い四角の部品2つ）があります。表面の透明なプラスチックを布等で乾拭き、紙粉が出ている場合にはエアスプレー等を吹き付けていただくと効果があります。</p>

発生内容	原因・詳細	対処方法
プリントストップ (PURINT STOP) が表示される。	メニュー5番の「プリントテイシ」で設定した枚数に達した為一時停止しています。	印字可ボタンを押して表示を消すと再開します。 「プリントテイシ」の設定を「0」にしますとプリントストップ機能は働きません。
トップエラー (TOP) が表示される。	DA本体の「シュウタンケンシュツ」がONになっている場合、用紙上端から一定範囲に印字データがある場合に表示されます。	DA本体のメニューから「8. シュウタンケンシュツ」を選択し、OFFに切り替えるとエラー表示されません。 レイアウト修正並び給紙方向の「正方向」「反転」切替等を行なってエラーが表示されない環境にしてください。
インク注意エラー (INKチュウイ) が表示される。	画面上に表示されているインク残量がメニュー11番「インクチュウイセッテイ」で設定した数値に達しました。	印字可ボタンを押して表示を消すと再開しますが、再度エラーで停止するのでインク交換を行なってください。
ホームサーチエラーが表示される。	インクキャリッジのラッチ部分 (緑色の部品) が、インクが正常にセットされていない等の為にDA内部で引っ掛かり正常に動作しない。	インクを正常にセットし直し、ラッチ部分を直す。 手が入らない場合はプラスドライバーでキャリッジ側の外板を外して行ってください。
	用紙が厚すぎてインクヘッドとプラテン (銀色の金属部分) に挟まってしまいキャリッジが動かなくなった。	用紙を取り除いてください。 <b>※用紙厚1ミリ以上は印字できません。</b> 1ミリ以下の場合、プラテンが前過ぎることが考えられます。マイナスドライバーをDA裏側の小さな穴 (直径約1センチ、覗くとマイナスドライバーを差し込める溝があります。) に差し、プラテン部分を指で触りながらドライバーを動かして調節してください。(指で触りながらですとプラテン部が前後に動くのが分かります)
	上記以外の原因で発生した場合。	電源を入れ直してください。 メッセージに「実行」キーを押してくださいと表示された場合には操作を行なってください。 繰り返し発生し、症状が改善されない場合は担当まで御連絡ください。

発生内容	原因・詳細	対処方法
インサツハンイエラーが表示される。	液晶画面の「タテイチ」にマイナス値を入力した際に数値が大きすぎ、印字開始位置が用紙の外になっている。	「タテイチ」の数値を変更し用紙のある位置から印字を開始させてください。
印字が裏写りしてしまう。 印字の一部が排出後に擦れてしまう。	インクが完全に乾く前に次の用紙がスタッカーに落ちています。	メニュー「4. ディレイ」を設定し印字速度を遅くしてください。  落ちている時には症状が発生していませんが、完全に乾いていない場合は用紙をスタッカーから取り出す際に印字部に力を加えないで取り出して下さい。
電源投入直後にインクヘッドが本体奥側へ移動してしまう。	リニアスケールがインクヘッド部のセンサーから外れています。	リニアスケールをインクヘッド部のセンターに戻してください。  手順は担当営業または技術部へご確認ください。
データを送ってもバッファランプが点灯しない。	パソコンのプリンタドライバ設定で「オフライン」又は「一時停止」が入っている。	パソコン側で「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンタ」(Windows7の場合)でタナックのプリンタを選択し、ダブルクリックでステータスバーを表示させます。  ステータスバーのプリンタ名の右側に「オフライン」や「一時停止」を示唆する表示がある場合には「プリンタ」をクリックし該当する要因を解除してください。
	USBポートの指定が変わった可能性があります。  (PC側の差込先が変わった場合やケーブルを変えると変わる事があります)  ※上記原因によって「オフライン」表示される場合も有ります。	USBケーブルが接続されている事を確認してください。
	LAN接続でデバイスサーバ使用の場合、デバイスサーバ上でデータが止まっている。	パソコン側で「スタート」→「コントロールパネル」→「デバイスとプリンタ」(Windows7の場合)でタナックのプリンタを選択し、右クリックで「プリンタのプロパティ」→「ポート」で「USB●●●(数字が入ります)」を変更してください。「適用」をクリックしデータが流れれば完了です。(PCの環境によって複数の「USB●●●」が存在しますのでご了承下さい。)
		送信したデータを削除の上、DAの並びデバイスサーバの電源を切り、再起動を行なってください。

発生内容	原因・詳細	対処方法
ペンドライバーエラーが表示され印字が正常に印字されない。	インク又はペンドライバーに不具合が発生しています。	インク交換して正常に印字した場合はインク不良になります。 インク交換しても改善しない場合はペンドライバー交換が必要となる場合があります。
(バッファランプが点灯し) 印字可ボタンを押したが、給紙動作を行わない。	スタッカー部にある用紙センサーが汚れている為にスタッカー動作が安定しない場合に発生する事があります。 また、スタッカー部にある押さえ板等の干渉によってスタッカーが所定の位置に戻れない場合にも発生する事があります。	DA本体下部中央にセンサー（黒い四角の部品2つ）があります。表面の透明なプラスチックを布等で乾拭き、紙粉が出ている場合にはエアスプレー等を吹き付けていただくと効果があります。 スタッカー部にある押さえ板等の干渉を取り除いてください。
	液晶画面が通常画面以外（メニューモード画面等）になっています。	メニューボタンを押して通常画面に戻してください。
	タイチ又はヨコイチの数値が点滅状態（数値入力途中）になっています。	実行ボタンを押して点灯状態に戻します。 ※間違っても数値が変更されている場合は元の数値に戻してください。
	DA用ではないプリンタを選択してデータを送信している可能性があります。	プリンタ再起動並びにPC側のスプールを削除し、DA用プリンタを選択してデータを送信してください。
印字が斜めに印字されてしまう。	用紙と左右の押さえ板の隙間が広すぎる。	用紙と左右の押さえ板の間隔を調整してください。
	内部の排出ローラーの位置が用紙の位置に無い。	排出ローラーを用紙のある位置かつ印字に重ならない範囲に移動してください。
	給紙ローラーの一部が汚れている。 又は磨耗している。	汚れの場合は給紙ローラーの清掃を行ってください。 磨耗の場合はローラーの交換が必要となる場合がございます
用紙に印字の一部が転写されてしまう。	内部の排出ローラーの位置が印字範囲内にある。	排出ローラーを用紙の印字に重ならない範囲に移動してください。
印字がかすれてしまう。	インク噴出し部が汚れて目詰まりを起こしている。	インク噴出し部の清掃を行ってください。
	インク実残量が空に近い状態になっている。(液晶表示は空に近い数値の場合。)	一度インクを外して重量を確認してください。空に近い場合はインク交換を行ってください。

発生内容	原因・詳細	対処方法	
印字がD A内部で擦れてしまう。	ヘッドと用紙の間隔が近い為印字の際に干渉しています。	<p>プラテンが前過ぎる場合には、マイナスインドライバーをD A裏側の小さな穴（直径約1センチ、覗くとマイナスインドライバーを差し込める溝があります。）に差し、プラテン部分を指で触りながらドライバを動かして調節してください。（指で触りながらですとプラテン部が前後に動くのが分かります）</p> <p><b>※用紙厚1ミリ以上の用紙は印字できません。</b></p>	
	用紙に癖がある場合、お手数ですが手で用紙を捌いて癖を取り除いてください。	用紙が複数枚給紙されてしまう。	給紙ゲートの幅が広すぎる。
給紙ゲートのロックを閉めたまま用紙圧調整ダイヤルの数字を小さい方へ動かしてください。 改善されない場合には給紙ゲートの調整をやり直してください。	静電気や用紙に振りかけた粉の影響で用紙同士がくっついてしまう。		用紙をセットする前に用紙をさばいて静電気並び粉を除去してください。
用紙セット位置を中心ではなく奥方向（横位置プラス方向）に動かしてセットし、給紙ローラーの位置を調整します。 その際に「ヨコイチ」の数値を入力し、印字位置の補正を行なってください。	第三種対応給紙ローラー軸仕様でないD Aにて第三種封筒を使用している（第三種封筒の切れ込み部分の影響で次の用紙を早く給紙してしまう）。		印字可ランプが点滅し操作が行なえない。
ノイズや内部的なエラーの複合等で操作がロックされています。	お手数ですがパソコンに残っているスプールデータを削除し、電源スイッチを切ります。その状態では電源が切れませんが、数秒後にメッセージが表示されるので「実行」ボタンを押して電源を切ります。 再度電源を投入し印字を再開してください。 繰り返し発生し、症状が改善されない場合は担当営業まで御連絡ください。		

発生内容	原因・詳細	対処方法
印字動作は行なわれるが印字の一部又は全部が全く印字されない。	インクが目詰まりまたはインク残量が無い可能性があります。	インクの清掃並びにインク交換を行なってください。
	DA内部のケーブルが断線している恐れがあります。	部品交換修理が必要となります。
	ソフトのレイアウト幅が小さく印刷プレビューの段階で文字が表示されていない可能性があります。	ソフトのレイアウトを文字が表示される様に修正してください。
本来の印字場所とは異なる位置で印字されてしまう。	ヨコイチ・タテイチの数値が本来の数値と異なる値が入力されている。	タテイチ・ヨコイチの値を本来の値に戻してください。
	リニアスケールが汚れている為、位置管理に影響が発生している。 (ヨコイチ方向の場合)	リニアスケールを清掃し汚れを取り除いてください。
	給紙ローラー並びピンチローラーが汚れている為、本来の印字位置まで給紙が行なえない。 又は、排出ローラーが用紙位置に無い。 (タテイチ方向の場合)	給紙ローラー並びピンチローラーを清掃し汚れを取り除いてください。 また、排出ローラーを用紙位置（印字に重ならない部分）へ移動してください。
	給紙部の用紙積載量が多すぎる場合や付属の錘が重すぎる。 (タテイチ方向の場合)	用紙積載量を減らす事やマグネット式の錘部分を外して重量を軽くするとスムーズに給紙されますので調整を行ってください。
	筆まめ印字の際、ソフト側の印刷位置微調整にて位置調整の設定が行なわれている。	ソフト側の印刷位置微調整にて位置調整の設定を解除してください。
インクヘッド部がインク収納部から出てこない。	インクラッチ部（緑色の部分）が倒れている。 (インクを取り付けていない場合)	倒れているインクラッチ部を元の状態（上に上がっている状態）に戻してください。
	インクの取り付けが不十分でインクラッチがきちんと元の位置まで上がっていない。 ※不十分な状態でインク交換を完了した場合に収納部へ移動出来るが出てこない事があります。	インク取り付けをやり直してください。 場合によっては操作パネル側のカバーを取り外す必要があります。
印字した用紙がスタッカー部でバラついてしまう。	スタッカーの高さ設定が合っていない。	スタッカー部のレバーでスタッカーの初期位置を調整してください。 ※用紙毎の目安位置はレバー横に記載しています。
印字した用紙がスタッカー部で立った状態になってしまう。		